

発 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 2 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 山 本 智 紀

次のとおり通告します。

発言順位	3	受領日時	12 月 2 日	午前・午後	11 時 25 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		・ 一括方式		発言時間	約 40 分
答弁を求める者	・市長・教育長・選挙管理委員会委員長・公平委員会委員長 ・農業委員会会長・監査委員・公営企業管理者					

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	氏名照合制度を踏まえた教育現場の安全確保と市教育委員会の役割について	<p>(1)採用権限の有無にかかわらず、市立学校の教育従事者における安全確認に関する責任への認識について伺う。</p> <p>(2)氏名照合では補いきれない本人確認のリスクについて採用権限を持つ愛媛県と共有・分析し、現場の課題を伝えていく意向の有無を問う。</p> <p>(3)制度上の課題について、現場を預かる自治体として、国や県に改善を要望し、より確実な本人確認手法の検討を働きかけていく考えはあるか、本市の子どもたちを守るための具体的な姿勢を問う。</p> <p>(4)教育長はこの問題をどのように認識し具体的に何を改める必要があると考えているか。</p>
2	アジアテレビドラマカンファレンスと坊っちゃん文学賞について	<p>(1)四国初開催となるアジアテレビドラマカンファレンスの成果を本市はどの領域に重点を置いて捉えるのか、作品誘致、制作実績のみならず、参加者の滞在日数、市内事業者との連携、若年層の参画など観光・文化・人材面における中期的効果を測る3～5年の具体的指標を問う。</p> <p>また、本市として本事業にどう臨むのか意気込みを問う。</p> <p>(2)国際制作誘致で成功する都市は釜山映像委員会のように、撮影許可、ロケ調整、宿泊、通訳、交通を一元化した受入体制を整備している。8,100万円規模の本事業を単年度で終わらせないために、国際制作ネットワークの構築やロケ誘致につながる出口戦略をどの段階まで具体化しているのか。本市として何を残し、どの体制・仕組みに引き継ぐのか問う。</p> <p>(3)本市の坊っちゃん文学賞受賞作品を①作品紹介、②共同制作の相談、③ロケ誘致の接点として提示し、映像産業と結ぶ都市の文化外交プラットフォームとして活用する考えはあるか。今回のカンファレンスで実施しない場合でも、次回以降に向けた準備・検討の有無を</p>

